

寒さの厳しい毎日ですが、子ども園には子どもたちの元気な声が響いております。子どもの体調の変化に十分注意しながら、今月も笑顔で過ごしていけるよう保育してまいります。



2月は節分と作品展があります。子どもたちは節分に向けて、鬼のお面を製作いたしました。「先生、鬼はいつ来るの？明日？」と鬼が来る日を気にしている様子が見られております。そして、いよいよ間近に迫る作品展。この日に向けて子どもたちはたくさん話し合い、こつこつと楽しみながら準備を進めています。年中組として何を製作したいのかを自分たちで考え、イメージしたものを作り上げるためには何が必要なのか、素材は何で作るのかをグループごとに話し合い、製作に取り組んでいます。私共は、子どもたちが友だちと力を合わせて一つの物を製作する姿や次から次へとアイデアを出し合う姿から、とても成長を感じることができ担任として嬉しい気持ちでいっぱいです。



3学期が始まり1か月が経とうとしています。年中組の子どもたちは進級当初に比べて言葉での気持ちの伝え方を理解し、相手の気持ちにも寄り添うことや聞き入れることが少しずつ出来るようになり、今となっては友だち同士のトラブルも子どもだけで解決する姿が見られます。また、物事の善し悪しについても理解して友だちが保育室の中を走っている姿を見かけると「先生！〇〇くんがお部屋の中を走っていたよ」と教えてくれます。その時に保育者から直接伝えるのではなく、「見かけたり気づいたお友だちに教えてあげたらどうかな？」と問いかけると、子ども同士で伝え合う姿が多くなりました。

年中組として過ごす残りの時間を大切に、今後も子ども一人一人に寄り添い、最後まで子どもたちの成長や頑張りを受けとめながら保育に努めていきたいと思っております。
(年中組チーム担任 三並由香)

直前インフォメーション

○作品展

- 2月4日(土) 詳細はホームページに載せてありますのでご確認ください。
- 2月3日(金)・6日(月) 作品展代休のため、短時間タイプの方はお休みとなります。
- *3日・6日のお迎えは、水曜日と同様のお時間となります。(11:30/13:00/16:00~)



○保護者会

- 2月25日(土) オンラインにて行います。詳細は、後日アップいたします手紙をご確認ください。

○個人面談

- 2月13日(月)～2月24日(金) 土日祝日を除く
- 面談日程は、決まり次第メールにてご連絡いたします。

○卒園遠足の日について

- 2月22日(水) は年長組の卒園遠足のため、短時間タイプの方はお休みとなります。

2月の目標



- ・自分で出来ることに喜びを感じ、自信に繋げながら進級に期待を持つ
- ・友だちと気持ちを伝えあい、遊びや活動の中で自分らしさを発揮する



2月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪北風小僧の寒太郎

作曲 井出 隆夫

作曲 福田 和子

編曲 三森 桂子

1, きたかぜこぞうのかんたろう

ことしもまちまでやってきた

ヒューンヒューンヒュルーンルンルンルン

ふゆでござんす ヒュルルルルルルーン

2, きたかぜこぞうのかんたろう

くちぶえふきふきひとりたび

ヒューンヒューンヒュルーンルンルンルン

さむうござんすヒュルルルルルルーン

3, きたかぜこぞうのかんたろう

でんしんばしらもないている

ヒューンヒューンヒュルーンルンルンルン

ゆきでござんすヒュルルルルルルーン



♪ゆきのぺんきやさん

作詞 則武 昭彦 作曲 安藤 孝

編曲 三森 桂子

1, ゆきのぺんきやさんはおそらからちらちら

おやねもかきねもごもんも

みんなまっしろくまっしろくそめにくる

2, ゆきのぺんきやさんはおおぜいでちらちら

おやねものはらはたけも

みんなまっしろくまっしろくそめにくる



2月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本、先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

・「まゆとおに」

作：富安 陽子 絵：降矢 なな 出版社：福音館書店

山姥の娘まゆは、ある日鬼に会います。鬼はまゆを煮て食べようとお湯を沸かしはじめます。

まゆはそうとは知らず、薪の山を作ったり、かまどの石を積んだり、手伝います。その怪力に驚いた鬼も、鍋のお湯が沸くころには、もうすぐまゆを食べられるとにんまり。ところがお湯が沸くと、風呂を沸かしているとばかり思っているまゆは、「お先にどうぞ」と言うなり、鬼を鍋に放り込んでしまいます。この後、まゆと鬼がどうなるのかは絵本を見てからの楽しみ。



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。
是非ご家庭でも行ってみてくださいね。

恵方巻に使われている具材の意味は？

恵方巻は縁起の良い七福神にちなんで **7種類**の具材が使われています。

1つめ：卵焼き/伊達巻

→黄色い見た目から、金運上昇の意味が込められています。

2つめ：かんぴょう

→細長い見た目から、長生きできるようにという願いが込められています。

3つめ：しいたけ煮

→傘のような見た目が陣笠に似ていることから、身を守ってくれるというご利益の願いが込められています。

4つめ：桜でんぶ

→鯛などの白身魚の身をほぐし、鮮やかなピンク色に色付けされた桜でんぶは、鯛の「おめでたい」という言葉に掛けた縁起物として用いられています。

5つめ：きゅうり

→名前から 9つの利をもたらしてくれると考えられ、縁起物として用いられています。

6つめ：えび

→見た目から、腰が曲がるまで長生きできますようにという願いが込められています。

7つめ：うなぎ/あなご

→「うなぎのぼり」という言葉があるように、出世や上昇という意味が込められています。



恵方巻を食べるときの約束は？

恵方巻を食べるときの約束は **3つ**あります。

①恵方巻は1人1本ずつ用意します。

なぜ、1人1本食べるのかと言うと、恵方巻を切って食べてしまうと縁が切れてしまうと言われているからです。

②その年の神様がいる方角を向きます。

恵方巻を食べるときはその年の神様がいる方角を見ながら食べます。神様はいろいろな場所にいるので、毎年食べる方角が変わります。

今年の方角は「南南東のやや南」です！

③恵方巻を食べるときはお話をしないで静かに食べます。

食べるときにお話しをしてしまうと・・・**福や運氣**が逃げてしまいます。

約束を守り、恵方巻を食べることが出来たら素敵な願い事が叶うかもしれませんよ！

引用サイト：『保育求人ラボ「恵方巻ってなに？保育園で子どもに分かりやすく説明しよう！」』

